

製品名: NuMA ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14975**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 240kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | NUMA1 |
| 別名 | NUMA1; NUMA; Nuclear mitotic apparatus protein 1; NuMA protein; SP-H antigen |
| 遺伝子 ID | 4926.0 |
| SwissProt ID | Q14980 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト NUMA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 334-383 |

背景

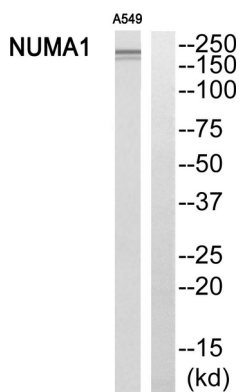
この遺伝子は、核マトリックスの構成成分を形成する大きなタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は微小管と相互作用し、細胞分裂中の有糸分裂紡錘体の形成と組織化に関与しています。急性前骨髄球性白血病患者において、この遺伝子と

17番染色体の RARA (レチノイン酸受容体 α) 遺伝子との染色体転座が検出されています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 11 月]機能: 核の構成成分となる可能性があります。細胞内局在: 核ラミナが完全に崩壊する前の前期初期に、凝縮中の染色体から解離します。有糸分裂が進行するにつれて、染色体表面にラミナが大量に蓄積する前の、核再形成のごく初期に終期染色体と再結合します。、

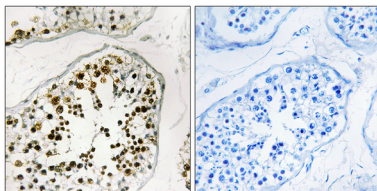
研究分野

マーカー; 細胞生物学; 細胞周期; 細胞分裂; 紡錘体

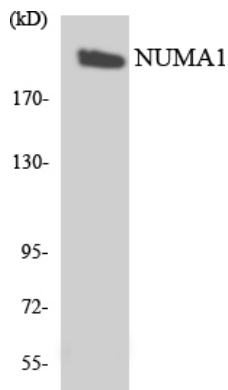
画像データ



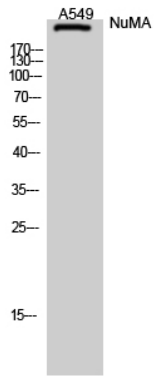
NUMA1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが NUMA1 ペプチドでブロッキングされている。



NUMA1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学染色。右レーンが NUMA1 ペプチドでブロッキングされている。



NUMA1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NuMA ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた A549 細胞のウエスタンブロット解析